

講義名

高エネルギー加速器科学セミナーV
(高エネルギー加速器と社会)

単位数

1単位(2回に分けて集中)

担当教員

菊谷・平田

講義のねらい

高エネルギー加速器と高エネルギー物理学を学ぶ者は、社会との関わりについての明確な意識と知識を持ち、それを自分の言葉で社会に説明できなければならない。そのためには、社会の中でどのようにその学問分野が成立し発展してきたのかについての歴史を知ることが最も重要である。主に歴史的観点から高エネルギー加速器と社会について概括する。

講義計画

- 1 サイクロトロンと巨大科学の成立
- 2 マンハッタン計画
- 3 戦後の高エネルギー物理学と加速器
- 4 SSCの中止
- 5 仁科芳雄とサイクロトロン
- 6 原子核研究所とES
- 7 原子核将来計画
- 8 KEK PSとTRISTAN
- 9 KEK Bファクトリー
- 10 LHCと高エネルギー加速器の将来

成績評価方法 出席とレポートによる

参考資料 履修者に指示する。

履修のための条件 とくになし

授業における言語対応 日本語、英語(履修者に応じ、必要なら別々に行う)